

一橋大学指定国立大学法人構想

日本の社会科学の改革を牽引する拠点形成 ーグローバル・ウェルフェアへの貢献を目指してー

- ▶ グローバル・ウェルフェアへの貢献
- ▶ QS世界大学ランキング
社会科学分野 10位以内 (20年後)
4小分類分野* 30位以内 (10年後)

【研究力強化】

- ▶ 国際水準の研究者を擁し、世界に伍する教育研究機関へ
- ▶ 社会課題解決のための分野横断的研究

【人材育成】

- ▶ 高度な学問研究に裏付けられた教育
- ▶ 社会課題の解決、グローバル・ウェルフェアに貢献する人材ーGlobal Captains of Industryーを育成

【社会連携】

- ▶ 社会課題の共有から協働する包括的な産学官連携体制
- ▶ 文理共創による研究・教育

【国際協働】

- ▶ 国際共同研究の活性化
- ▶ 国際協働によるグローバル教育プログラム

【財務基盤強化】

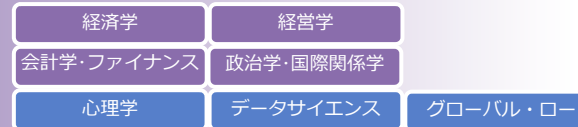
- ▶ 独自財源の確保による財務基盤の強化
- ▶ 大学経営の効率化・拡大再生産

【ガバナンス強化】

- ▶ 学長リーダーシップの強化
- ▶ 外部視点を取り入れた大学経営

研究力強化

- 戦略的重点化領域の選択と資源の集中
○ 戦略的重点化領域



- 社会科学高等研究院 (HIAS) を中核として、分野横断的な研究センターを新たに設置
○ グローバル・ガバナンス
○ 科学技術の社会実装
○ データ・デザイン
○ エビデンスに基づく政策立案 (EBPM)
- 国際水準の研究者集団の形成
○ 戦略的重点化領域に研究者を60人純増
- 英文業績数を増加 (年間300本以上)

社会連携

- 帝国データバンク、産総研等との連携協定による共同研究を推進
- 四大学連合等の連携により文理共創を推進
- 整備されたデータインフラの共同利用を促進
- クロス・アポイントメントにより実務家教員を充実

ガバナンス強化

- 戦略領域重点化コミッティーの設置
- 全学人事委員会の強化
- 大学経営人材育成プログラムを構築
- 社会科学の発展を考える円卓会議を開催
- 管理会計システムを開発・導入

人材育成

Global Captains of Industry の育成

- 学士課程
○ 英語による専門科目を200科目へ
○ デュアル・ゼミナール制を導入 (日・英)
○ 国際的アクティブ・ラーニングを導入
○ ソーシャル・データサイエンス学部を創設
- 博士課程
○ 国際共同研究、社会課題解決型研究を通して、OJTで研究者育成
- プロフェッショナル教育 (修士) ロースクール、ビジネススクール、国際・公共政策大学院を拡充 (博士) EBPM、技術経営人材プログラムを開講
- エグゼクティブ教育
○ シニア・エグゼクティブ・プログラム等を充実
○ 医療経済、M&A戦略、ホスピタリティ・マネジメントプログラムを開設
- 学内外の大学院生をRA/TA等として雇用

国際協働

- SIGMA (世界の社会科学系9大学の連合) による戦略的パートナーシップに基づく共同研究・教育プロジェクト、研究者交流の促進
- ダブル・ディグリー・プログラムを拡大
- 国際共同研究の活性化

財務基盤強化

- 授業料を改定 (学部・MBA)
- ビジネススクール学生定員を増加
- 授業料収入・外部収入を20億円増加
- アジア向け専任ファンドレイザーを配置、累計寄附金150億円へ

*小分類分野: 経済学、経営学、会計学・ファイナンス、政治学・国際関係学